

C4「リスク低減、ガードとインターロック、使用上の情報」講習会

ガードとインターロック、付加の保護方策、使用上の情報、妥当性確認と文書化

1. ねらい

機械の安全化を推進する機械設計技術者、電気・制御設計技術者、機械のインテグレータ、機械ユーザの生産技術担当者と管理者向けにリスクの低減方策を解説する機械安全の基本講座です。

現場の機械安全推進に必要な知識/技術が習得でき、現場の機械安全推進にとっても有益です。C1講習会（機械の安全原則）C2講習会（リスクアセスメント）C3講習会（リスクアセスメントとリスク低減（本質的安全設計方策））を履修されていることをお勧めします。単独の講座としても受講できます。

機械のリスク低減方策は3ステップメソッドと呼ばれる国際規格ISO 12100に示される手順が世界的に広く採用され、厚労省の機械の包括的な安全基準に関する指針にも示されています。前講座（C3）の本質的安全設計方策に続く、ステップ2のガード、インターロック、付加の保護方策、ステップ3の使用上の情報を学びます。実務に役立つように事例を多数含めて具体的にそして平易に解説します。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 6月22日(水) 受付:9時15分より(接続開始9時00分)
- 開催場所 オンライン Zoom を使用します
職場の自席、リモートワーク場所、別室、など
- 定員 20名

3. プログラム

時刻	時間 (分)	講義 No.	内容	講師, 備考
9:30 ~ 9:40	10		オリエンテーション	
9:40 ~ 10:40	60	1	第1章 ガードによるリスクの低減、安全距離 安全防護によるリスクの低減 ガードの種類、ガードの選択とガードの構築	
10:40 ~ 10:50	10		休憩	
10:50 ~ 11:50	60	2	(続き) 安全距離と最小距離 人が接近するときの安全防護物の位置決め	
11:50 ~ 12:50	60		昼食・休憩	
12:50 ~ 14:00	70	3	第2章 インターロック装置と保護装置 インターロック装置設置への要求事項 ガード施錠装置 無効化の防止 検知保護装置	
14:00 ~ 14:10	10		休憩	
14:10 ~ 15:00	50	4	第3章 付加の保護方策 非常停止装置 ホールド・トゥ・ラン制御、両手押しボタン、イネーブラ エネルギーの遮断、設備類(重量物取扱、安全な接近・階段はしご等)	
15:00 ~ 15:10	10		休憩	
15:10 ~ 15:40	30	5	第4章 使用上の情報と残留リスク 機械に関する危険性等の通知情報の作成(指針)	
15:40 ~ 16:20	40	6	第5章 検証・妥当性確認と文書化 実施したリスク低減方策が客観的な証拠に基づき要求事項が満たされていることを確認し文書化すること。	
16:20 ~ 16:30	10		終了・退室	

本講習会Cコースは、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。
* C1,C2,C3,C4,C5の全講座の受講者に受講証明書(出席を証する文書の提出があれば修了証)を発行します。

4. 講師 当会講師

5. 受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>
会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

お問い合わせ	一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email info@sostap.org ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/
--------	---